

—— 発明協会創立 120 周年 ——

特 別 功 勞 者  
功 績 概 要

令和 6 年 7 月 11 日  
於・The Okura Tokyo  
(東京都港区)

野間口有、末松安晴、清水康敬、小林昭子の各氏におかれましては、当協会の発展のため、多年にわたり格別なるご高導、ご尽力を賜りました。

ここに、正仁親王妃華子殿下の御臨席を賜り、創立 120 周年記念式典を挙げるに当たり、特別功労者として感謝状を贈呈し、深甚の敬意を表する次第であります。

令和 6 年 7 月 11 日

公益社団法人 発 明 協 会  
会 長 内山田 竹 志



## 野 間 口 有

国立研究開発法人産業技術総合研究所 最高顧問、三菱電機株式会社 社友  
公益社団法人発明協会 元副会長（平成24年～平成28年）  
公益社団法人発明協会 元会長（平成28年～令和 4 年）  
公益社団法人発明協会 特別顧問（令和 4 年～現在）

氏は、平成 24 年公益社団法人発明協会副会長、平成 28 年同会長、令和 4 年同特別顧問に就任し、現在に至るまで、多年にわたり発明協会の事業運営に参画され、発明協会の発展に多大の貢献をされました。特に、平成 28 年 6 月、第十四代会長に就任されるや、高潔な人格と卓越した識見をもって会務を総理し、長くその重責を全うされ、もって発明協会の存在意義を一層高められた功績は極めて顕著であります。



## 末 松 安 晴

東京工業大学名誉教授、国立大学法人東京工業大学 元学長  
全国発明表彰選考委員会 元委員長（平成19年～令和3年）  
社団法人発明協会 元参与（平成20年～平成24年）  
公益社団法人発明協会 参与（平成24年～現在）

氏は、平成20年社団法人発明協会参与に就任し、現在に至るまで、多年にわたり発明協会の事業運営に参画され、発明協会の発展に多大の貢献をされました。特に、平成19年、全国発明表彰選考委員会委員長に就任されるや、崇高な人格と傑出した学識をもって選考委員会の円滑な運営に尽くされ、もって発明奨励振興事業の意義を一層高められた功績は極めて顕著であります。



## 清 水 康 敬

東京工業大学名誉教授、国立大学法人東京工業大学 元監事  
全日本学生児童発明くふう展・全日本教職員発明展 元審査委員  
(昭和61年～平成13年)  
同 元審査副委員長（平成14年～平成17年）  
同 元審査委員長（平成18年～平成29年）

氏は、昭和61年から全日本学生児童発明くふう展・全日本教職員発明展の審査委員、平成14年から同審査副委員長を務め、平成18年同審査委員長に就任されるや、廉直な人格と秀抜な学識をもって審査委員会の円滑な運営に尽くされ、もって青少年創造性開発育成事業の意義を一層高められた功績は極めて顕著であります。



## 小 林 昭 子

株式会社小林京鳳堂 代表取締役社長  
株式会社コバード 取締役副社長

氏は、平成2年より社団法人発明協会評議員、平成19年より同理事、平成24年からは公益社団法人発明協会理事として事業運営に深く携わられた故小林将男氏の志を引き継ぎ、多年にわたり発明協会の事業運営に多大の貢献をされました。特に、青少年の育成に対する深い理解のもと、廉潔な人格と卓抜した識見をもって青少年に対する創造性開発育成事業の発展に大きく寄与した功績は極めて顕著であります。

